

日

本のトップアスリートの強化拠点である味の素ナショナルトレーニングセンター（東京都北区）で、ランニングに汗を流していたのは下村博文大臣である。

「大体毎日公園でウォーキング、時折

国会内のジムで走ったりしています」

フルマラソンも走る市民ランナーとしての原点は1964年の東京五輪。テレビに映るアベベ、円谷選手の雄姿に当時10歳の少年は釘づけになった。「30代から走り始めて夢中になりました

た。以前は地元の板橋から国会まで走って初登院していたほど。ずっと仕事をしている時には思いつかないことが閃いたりする。パリやロンドンなど、出張先の街で走るのも最高ですよ」ランナーとしての目標は、東京マラ

ソン出場だという。

「2020年の東京五輪でも、競技を観る感動やスポーツをする喜びを多くの人に味わってほしい」と五輪に向けて抱負を語った。

撮影・西村純

あの
センセイの
こんな

趣味



衆院議員

下村博文

61

文部科学大臣